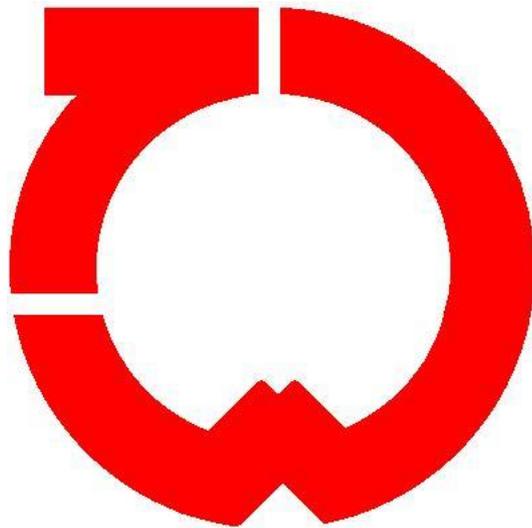


令和7年度  
(令和6年度事務事業対象)

## 教育委員会の点検・評価報告書



天栄村教育委員会

# 目 次

## I はじめに

- 1 点検・評価制度の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 点検・評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
  - (1) 点検・評価の目的
  - (2) 点検・評価の対象
  - (3) 点検・評価の方法

## II 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

- 1 教育委員一覧
- 2 教育委員会の開催状況
- 3 教育委員の活動状況

## III 令和6年度教育委員会の基本目標及び重点施策・・・・・・・・・・ 3－11

## IV 令和6年度教育委員会事務事業点検・評価の結果・・・・・・・・・・ 12－30

# I はじめに

## 1 点検・評価制度の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務づけられました。

また、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

## 2 点検・評価の方法

### （1）点検・評価の目的

点検・評価は、地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会の会議の開催状況、事務事業の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、教育行政の課題や取組の方向性を明らかにします。

また、結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することにより、住民に対し説明責任を果たし、教育行政に対する村民の信頼性の向上を図ります。

### （2）点検・評価の対象

令和6年度の教育委員会の権限に属する事務を対象事務としています。

### （3）点検・評価の方法

事業毎の目的、内容、成果等について、事務事業評価の判断基準に基づき、必要性、有効性等により評価を行うとともに、今後の事業の方向性を示しました。

また、点検・評価の客観性を確保するため、天栄村教育委員会評価委員の方々からご意見、ご助言をいただきました。

### 【評価委員会】

委 員 長	川 崎 潤 一
副 委 員 長	森 廣 志
委 員	内 山 晴 路
委 員	星 昇

## II 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員一覧

(令和7年3月31日現在)

教 育 長	長 場 壮 夫 (令和 5年 4月 1日就任)
教育長職務代理者	桑 名 裕 昌 (平成26年10月 1日委員就任)
委 員	小 沼 由喜枝 (平成29年10月 1日委員就任)
委 員	小 針 良 広 (令和 6年10月 1日委員就任)
委 員	清 水 栄 一 (平成23年11月25日委員就任)

### 2 教育委員会の開催状況

教育委員会会議については、原則として月1回の「定例会」のほか、必要に応じて「臨時会」を開催しています。

この会議では、教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定改廃などの審議、決定を行うほか、教育委員会で開催する事業等について報告がされています。

令和6年度に開催した教育委員会会議の開催状況等は、次のとおりです。

定例会		議案件数	報告件数
定例会	12回	9件	32件

### 3 教育委員の活動状況

教育委員は職務上必要な知識の習得や、教育上の諸問題に対する共通認識を図るため会議のほか研修会への参加や、他自治体の教育委員との情報交換を行っています。

また、入学式、卒業式、20歳のつどいなどの式典を始め、発表会などの学校行事や教育関係機関との懇談、教育関係研究会へ出席し、子どもたちの活躍を見守りました。

(主な研修会等)

事 業 名	期 日	開催地等
福島県市町村教育委員会連絡協議会定期総会	5月7日	福島テルサ
福島県市町村教育委員会連絡協議会岩瀬支会研修会	5月31日 10月31日	グランシア須賀川 ほがらかん
東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会	7月11～ 12日	山形県山形市
市町村教育委員会連絡協議会教育委員・教育長研修会	8月27日	ハルゼいいざか
市町村教育委員会連絡協議会県中ブロック研修会	9月25日	ブリティッシュビルズ

### Ⅲ 令和6年度教育委員会の基本目標及び重点施策

#### 1 基本理念

天栄村教育委員会は、すべての子どもが、かけがえのない個性ある存在として認められ、心身ともに健やかに育ち、子どもと家庭が孤立することのないよう、学校・家庭・地域が協働して子育てを行うことのできる環境づくりに努めます。

本村の課題である少子化対策の最大の解決策として、子どもたちの将来を見据えた教育環境並びに学習指導の充実を図り、「子どもたちが行きたい学校」、「保護者が行かせたい学校」づくりを目指すことと、「住んでよかった村づくり」に向けた生涯学習の充実を図ることが挙げられます。そのために、「地域コミュニティの活性化並びに地域との関わり」を更に重視し、天栄の強みである豊かな「ひと、もの、こと」との出会いを生かした教育施策の推進を図ります。

村民一人一人が「学校を核とした地域コミュニティづくり」に参画し、子どもたちの「学校教育」・自己の「生涯学習」を発展させていく中で自他の「教育参画意識」を高め合い、子どもの豊かな育ちを支える村づくりを学校・家庭・地域が一体となって目指します。

**村はひとつ、学校はひとつ、願いはひとつ**  
～地域コミュニティを核とした天栄だからできる少人数教育～

#### 2 基本目標

天栄村教育委員会の基本理念の実現に向けて、学校・家庭・地域との連携による教育の充実に向けた4本柱として、次の4つを推進し、次の時代を生きる子どもたちの生き抜く力を育成し、特色ある天栄の教育振興を進めます。

- 1 天栄型コミュニティ・スクール
- 2 愛村心を育むふるさと教育
- 3 英語の村てんえい
- 4 つなぐ教育

#### 3 重点施策

天栄村基本理念を実現するために、6つの重点施策を設け、具体的な取組を掲げ、教育行政を総合的に推進します。

- 1 「確かな学力」の向上
- 2 「豊かな心」と「健やかな体」の育成
- 3 学校・家庭・地域の連携による学校教育の推進
- 4 生涯学習の推進
- 5 郷土の歴史・文化の継承と活用
- 6 スポーツ・レクリエーションの推進

この施策は、第五次天栄村総合計画、第7次福島県総合教育計画等を踏まえ策定したものであり、実施にあたっては、関係機関、各種団体等と連携を図るとともに、広く村民の理解と協力を得ながら、積極的に推進いたします。

### 3 重点施策の方向及び具現化する事業

#### 1 「確かな学力」の向上

施 策	主な取組
<p>◆ 健全な心身の基礎を培う幼児教育の推進</p>	<p>○指導計画の策定 年齢や発達の過程を踏まえた指導計画を作成し、質の高い幼児教育を推進します。</p> <p>○幼児教育の推進 幼稚園教諭の研修を充実させ、非認知能力の育成や「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を基にした研究を進めます。</p> <p><b>重点</b> ○幼稚園と小学校との連携推進 幼保小の架け橋期の教育の充実を図るため、幼小連携研修会を実施します。</p> <p>○就学時前の教育支援 5歳児教育相談の開催及び村健康保健センターとの連携により、幼児教育や就学に不安や悩みをもつ保護者への支援を充実していきます。</p>
<p>◆ 未来を切り拓いていくための確かな学力の育成</p>	<p><b>重点</b> ○確かな学力の育成に向けた授業の質的向上 「ふくしまの授業スタンダード」の徹底により、授業の質的向上を図ります。特に、算数・数学科における学力向上の具体的な方策を立て、実践していきます。</p> <p>○教職員の研修機会の確保 教育的ニーズや課題に即した研修会を大学や教育機関と連携して開催し、教員の授業力の向上を目指します。</p> <p>○学力調査を活用したPDCAサイクルの確立 国（4月）県（5月）、村（12月）の学習状況の調査結果を分析し、課題の把握と指導改善に活用します。</p> <p>○ICTを活用した授業の実施・促進 児童生徒一人一人に配備されたタブレット等を効果的に活用し、子どもたちが授業等においてICTを使い、「個別最適な学び」ができるようにするとともに、教室内外の他者と協働して自分の考えを発信したり、深めたりするような「協働的な学び」を充実させます。</p> <p>○AIドリルの活用 AIドリル「navima」を補充的・発展的な学習を行う場面等において積極的に活用し、一人一人の学力向上を図ります。</p> <p>○家庭との連携 「ふくしまの家庭学習スタンダード」の活用方法を各校で共通実践し、家庭学習の習慣化、自己マネジメント力の育成を図ります。</p>

	<p><b>重点</b> ○小学校高学年児童、中学生英語検定への支援 小学生は年1回、中学生は年3回まで英検の受検費用を補助し、児童・生徒の英語に対する関心や学習意識を高め、学力向上を図ります。</p> <p><b>拡充</b> ○民間塾講師を活用した学習機会の設定 小学6年生と中学校2・3年生を対象に、夏季休業、冬季休業に合わせ民間塾講師による学習会を実施し、学習内容の定着を図ります。</p> <p>○公営塾の開催 サマースクール、小中学生英会話教室、ステップアップスクール等を開催し、児童生徒の交流を図るとともに学習支援を行います。</p> <p><b>重点</b> ○SDGsへの取組 地球的課題を解決するために、学校や個人で実践可能な取組を進め、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓く、持続可能な社会の創り手の育成に努めます。</p>
◆「愛村心を育むふるさと教育」の推進	<p>○キャリア教育・体験学習の推進 地域連携全体計画を各校で作成し、伝統や文化、産業等について体験的に学ぶ機会を設け、児童生徒一人一人のキャリア発達を促進します。</p> <p><b>重点</b> ○総合的な学習の時間・道徳教育の充実 地域連携担当教職員を中心として地域の「ひと・もの・こと」に繰り返し関わる主体的な学習を推進するとともに、道徳教育を充実させ、ふるさとを愛し、誇りに思う児童生徒を育成します。</p> <p>○地域人材の積極的活用と地域貢献 「つなぐ教育学力向上部会」において学校と地域の連携に関する情報を共有し、地域人材を積極的に活用するとともに、児童生徒が地域の中で活動し地域貢献するよう計画していきます。</p> <p><b>重点</b> ○地域を知る学習の実施 サマースクールを開催し、村内小学校5・6年生それぞれが一か所に集まった合同学習の機会を設けます。さらに、ブリティッシュヒルズでの異文化体験学習、ふるさと学び教室の開催により、地域のよさを学ぶ機会を設定します。</p> <p>○子ども模擬議会の実施 天栄村の将来を担う子どもたちに、村政に関心をもってもらい、自分の夢、希望を織り交ぜながら、村政に対する要望や質問を発表する機会を設けます。</p> <p>○愛村心を育む活動の実施 天栄村にゆかりのある様々な立場の方の講話を聴く機会を設け、キャリア教育の充実に努めます。卒業式等</p>

<p style="text-align: center;"><b>新規</b></p>	<p>の式典において、村民の歌「伸びゆく天栄」を歌唱し、村民の一員として村を愛する意識を高めます。</p> <p>○小中学生ふるさと夢未来応援事業の実施 村内小中学校のふるさと教育をさらに進化・推進するための支援を行うとともに、小中学生の将来の夢や希望、取り組みたい仕事等、その未来の実現に向かう力を養うことを目的とした各種事業を実施します。</p>
<p>◆「英語の村てんえい」の推進</p>	<p>○英語教育環境整備 先進的な英語教育・活動の中心的役割と天栄村公立学校職員の共通理解を図り、英会話の有効活用とALTとの連携のあり方や、英語環境の整備や教師の英語研修等充実に努めます。</p> <p>○ALTの計画的派遣 英語を聴き取り、自ら進んで話す能力を育むため、ALTの各校園への効果的な派遣やオンライン英会話レッスンの実施により、児童生徒一人一人が英語でアウトプットする機会を保障し、英語に親しみ、聴く・話す・書く能力を育成します。</p> <p>○授業の質的改善 外部機関・団体との連携による教員研修会及び各校園での教育実践を実施します。 教育課指導主事及び教育アドバイザーを積極的に活用していただき、村教職員の授業改善に努めます。</p> <p>○英語を活用する場の設定 ブリティッシュヒルズの施設や環境を利用した学年の発達段階に応じた体験学習プログラムを構築し、異文化体験学習を推進します。</p>
<p>◆つなぐ教育推進会議による幼・小・中連携、本村の教育課題に対応する教育実践の推進</p>	<p>○共通実践事項の推進 村内の教育課題を共有し、共通実践事項を検討・実践・検証する機会を設け、幼・小・中の連携をより一層推進します。学び続ける天栄の教師集団が児童生徒に予測困難な社会を生き抜く力を身につけさせるために授業力を磨きます。「つなぐ教育」の一環として村内幼小中学校が連携して、研究を推進し、授業研究会を開催します（6月14日：湯本小 予定）。</p> <p>○小小連携の推進 小学校の統合に向け、小学校の交流事業をさらに推進していきます。（合同陸上練習・合同水泳学習・合同異文化体験学習・合同森林環境学習）</p>

## 2 豊かな心と健やかな体の育成

施策	主な取組
<p>◆豊かな情操や規範意識、社会性を育む教育の推進</p> <p style="text-align: center;"><b>重点</b></p>	<p>○道徳教育の質的変換 ねらいに応じて問題解決学習や体験的学習等を取り入れた道徳授業の実施により、自己の生き方について考えを深める授業を実施します。</p> <p>○家庭や地域と連携した道徳教育の推進</p>

<p style="text-align: center;"><b>重点</b></p>	<p>家庭や地域に対する「天栄村7つの愛言葉」の周知及び実践による道徳性を育む教育を推進します。</p> <p>○「思いやりを育む推進委員会」活動の充実 天栄村青少年育成村民会議と教育委員会、学校、家庭、地域が同じ思いを共有し、思いやりを育む推進活動を通して、いじめの防止啓発に努力します。</p> <p>○読書活動の推進 「天栄村子ども読書活動推進計画」に基づき、「文化の森てんえい図書室」の活用と促進を図り、様々な企画をとおして子どもの読書習慣を育むとともに、読み聞かせ等の図書ボランティアの育成に努めます。</p> <p>○図書教育環境の充実 天栄中を拠点として全小学校に学校司書を配置し、学校図書館教育及び図書館経営の充実を図ります。さらに、図書システムより、情報を活用した学習活動・読書活動を充実させていきます。</p>
<p>◆不登校・いじめの防止</p>	<p>○早期発見・早期対応 普段の児童生徒の様子から変化や変容を見逃さない意識を持ち、教職員間で情報を共有して、組織的に対応します。</p> <p>○校種間のなめらかな接続 小学6年生が参加するサマースクールとステップアップスクールの実施により、中1ギャップの解消を図ります。</p> <p>○総合的な不登校対策の推進 校内のチーム会議を開催するだけでなく、関係機関やSSWやSCなどと連携したケース会議の開催により、不登校の未然防止、早期対応を図るとともに、不登校児童生徒の学校復帰を目指します。</p> <p>○「いじめ防止基本方針」に基づく関係会議の充実 いじめ問題対策連絡協議会・いじめ防止対策委員会等、いじめ防止に関係する機関及び団体との連携を図り、いじめ問題に関する施策を推進します。</p>
<p>◆児童生徒の未来を拓くための学習・生活支援</p>	<p style="text-align: center;"><b>新規</b></p> <p>○適応指導教室「ほっとルーム」の設置 長期欠席児童生徒の情緒的な安定を図り、学習機会の確保や教育相談の実施による支援を行い、再び在籍校等に登校できる環境を整えます。</p> <p>○給付型奨学金制度の創設 経済的理由により大学等への進学を断念することなく、就学の機会を得られるように給付型の奨学金を支給します。</p> <p style="text-align: center;"><b>拡充</b></p> <p>○通学バス利用者の費用全額補助 児童生徒が通学に利用するバス運賃の全額を補助し、遠方より通う児童生徒の通学を支援します。</p>
<p>◆「地域で共に学び、共に生きる特別支援教育」の実現</p>	<p>○特別支援教育教職員研修の実施 村主催による研修会を開催します。また、「切れ目のない支援体制整備事業」の「相談事業」と「研修支援」を積極的に活用し、指導・支援の充実を図ります。</p> <p>○児童生徒一人一人の教育的ニーズに合わせた支援 個別の教育支援計画や個別の指導計画、教材教具を整備し、個に応じた多様な学びが実現できるよう学習環境を充実させます。また、支援員の配置により、教育支援</p>

	<p>体制を強化します。</p> <p>○<b>早期からの就学支援・就学相談の充実</b>        村健康保健センターやSSW、SC等の教育・福祉の連携を生かし、早期からの就学支援・就学相談の充実を図ります。</p>
◆健康の保持増進	<p>○<b>感染症拡大防止</b>        基本的な感染症予防対策を図り、インフルエンザ等の拡大防止の徹底に努めます。</p> <p>○<b>学校保健の充実</b>        地域学校保健委員会を開催し、村共通の健康課題について協議し、共通実践事項の決定、実践、検証を行います。</p> <p>○<b>歯科指導の推進</b>        むし歯治癒率・治療率を向上させるよう、計画的な歯科指導を実施します。</p> <p>○<b>食に関する指導の充実</b>        栄養技師と連携した食に関する指導の推進及び朝食欠食の解消に努めます。</p> <p>○<b>給食費全額補助の実施</b>        小中学校の給食費の全額を村が負担します。給食費に係る保護者等の負担を軽減しつつ、栄養面に配慮したおいしい給食を提供します。</p> <p>○<b>学校給食の充実</b>        ブランド米である天栄米と地元野菜を生かした給食を提供し、地産地消の推進を図ります。村内幼・小・中学校すべてにおいて村給食センターにて調理、配食します。</p>
◆体力の向上と学校体育活動の推進	<p>○<b>学校体育の充実</b>        ICT機器も効果的に活用し、一人一人が自己の課題把握や目標設定をしっかりと行い、自己の伸びを実感できる体育授業を展開します。外部講師を活用した体育授業の実施や「運動身体づくりプログラム」の効果的な実施により、どんな運動に出合っても動くことのできる体づくりを推進します。</p> <p>○<b>体力向上の取組の推進</b>        体力と運動習慣等の調査結果、日々の児童生徒の状況把握を基に、運動する機会の意図的設定と運動能力向上を図る体育活動を実施します。</p> <p>○<b>「体育手帳」の活用推進</b>        「自分手帳」への体力テストや身体計測等の結果を累積し、自己の体力の状況を理解し、生涯に渡って運動に親しむ資質や能力を育成します。</p> <p>○<b>運動部活動の充実</b>        「天栄村運動部活動の指針」を基に、計画的な運営を推進します。また、部活動の地域移行に向け、外部指導者を配置し、運動部活動の充実を図ります。</p>

**重点**

**拡充**

**重点**

3 学校・家庭・地域の連携による学校教育の推進

施策	主な取組
◆学校の組織運営の改善と地域	○ <b>学校運営協議会の充実</b>

**重点**

<p>の核となる学校づくり</p>	<p>健全な子どもの育成、活力ある学校、地域の活性化に向け、学校・家庭・地域が協働して学校運営の改善、充実が図れるよう学校運営協議会による学校訪問、協議会を開催します。それぞれの学校のもつ伝統や特色を生かした学校経営や教育活動の展開を支援します。</p> <p>○<b>地域学校協働活動の充実</b>  地域コーディネーターや地域連携担当教職員が中心となり、学校や地域からの要請に応じた地域人材等の派遣及び地域に関わる児童生徒の教育的活動を推進し、地域のコミュニティの核となる学校づくりを目指します。</p>
<p>◆信頼される教職員の育成</p>	<p>○<b>服務倫理に係る研修の充実</b>  「信頼される学校づくりを職場の力で」を基にした服務倫理委員会等の定期開催による不祥事根絶に向けた研修や取組を推進します。</p> <p>○<b>教員の資質・能力の向上</b>  教職員人事評価制度や研修受講履歴記録システム等により、教職員の資質・能力の向上を図ります。</p>
<p>◆子どもたちの安全・安心を保障する教育活動の実施と支援体制の確立</p>	<p>○<b>一斉引き渡し訓練の実施</b>  村防災計画に則り、土砂災害危険区域、洪水被害危険区域、防災マニュアル等について、地域や家庭への周知を図るとともに、幼・小・中や関係機関及び家庭・地域を巻き込んだ一斉引き渡し訓練を実施することで、防災マニュアルの実効性を高めます。</p> <p>○<b>学校安全体制の充実</b>  こども110番の家、スクールガードリーダーなど、学校・家庭・地域が一体となった、地域ぐるみの安全体制の充実に努めます。</p>
<p>◆学校の英語力向上に向けた支援</p>	<p>○<b>つなぐ英語教育推進事業の展開</b>  大学や大学サークル等と連携した英語教育を開催し、児童生徒の学習の成果を発揮したり、外国文化に触れたりする機会を設定します。</p> <p>○<b>英会話教室の開講</b>  「大人の英会話教室」「親と幼児の英会話教室」「子どもの英会話教室」を開催し、英語学習を通じたコミュニケーション力を高めます。</p>
<p>◆家庭の教育力向上に向けた支援</p>	<p>○<b>メディアコントロールの実施</b>  「つなぐ教育学校・家庭・地域連携部会」によるメディアコントロールの取組推進と取組状況の検証を行い、親子、家庭でメディアの適切な利用について考える機会を設けます。</p>
<p>◆学校・家庭・地域が協力する教育体制の整備</p>	<p>○<b>放課後子ども教室の推進</b>  地域住民の参画を得ながら、放課後子ども教室を実施し、子どもたちの居場所づくりや交流・学習支援の充実を図ります。</p> <p>○<b>学校応援団などの推進</b>  地域住民による「学校応援団（人材バンク）」の組織づくりを推進します。</p>

#### 4 生涯学習の推進

施策	主な取組
<p>◆村民のニーズに応える生涯学習の支援</p>	<p>○生涯学習推進体制の充実 「村民一人1学習 1ボランティア 1スポーツ」の実現を目指し、生涯学習に関する各課、関係機関、諸団体との連携を進め、生涯学習推進体制の充実を図ります。</p> <p>○てんえい村民学校応援団活動の充実・推進 天栄人材バンクを再整備し、人材の活用を促進した生涯学習係連携事業を推進します。てんえい村民学校応援団（地域学校協働本部事業の推進）を核として地域の住民による天栄の教育の方向性を確認し、学校・家庭・地域が一体となった確かな天栄の教育を展開します。</p> <p>○文化とスポーツの振興 文化・スポーツ諸団体育成と活動の充実・強化を図り、村民による文化・芸術の成果を発表する機会を増やし、郷土愛に満ちた村民の交流と学習に努めます。また、村民に研修の機会を与え、学びの深化を図るとともに学びの和を広げ、文化祭等での展示や発表につなげます。</p> <p>○スポーツ少年団と連携 子どもの運動不足解消に努めるとともに中学校部活動との連携を図ります。</p> <p>○児童生徒の体験学習の推進 大学や諸団体等と連携し、学校や家庭では体験できない学習事業を実施します。</p> <p>○講座・教室の充実 村民のニーズに対応する各種講座を開設し、村民の生涯学習を促進します。</p>
<p>◆子どもの学習機会の確保、安全・安心な環境の整備・充実</p>	<p>○放課後子ども総合プランの実現 放課後子ども教室と児童クラブの連携を図り、子どもの安全・安心な生活環境を整備します。</p> <p>○読書活動の推進 「第三次天栄村子ども読書活動推進計画」に基づく読書活動の推進を図ります。「文化の森てんえい図書室」の活用と促進を図り、子ども読書推進事業をとおして子どもの読書習慣を育むとともに、読み聞かせ等の図書ボランティアの育成に努めます。</p>
<p>◆生涯学習施設の整備・充実</p>	<p>○生涯学習センター・公民館の整備・充実 村民の生涯学習の中心となる場として、安全・安心な施設運営に努め、村民の利便性を図ります。また、社会教育での学校施設の利用の充実を図り、活動の輪を更に広げ、施設活用を促進します。</p>

**重点**

## 5 郷土の歴史・文化の継承と活用

施策	主な取組
◆天栄村の歴史・文化の保存・継承と活用	<p>○文化財の活用 指定文化財の所有者・管理者等が行う保存修理や管理事業等を補助し、文化財が適切に将来へ継承するよう図るとともに、出土文化財や史跡等の公開機会を設け活用を推進します。</p> <p>○文化財の保存 文化財の確認調査、発掘調査等を実施し、文化財の適切な保護・保存を行います。</p>
◆村民が行う文化芸術活動の支援	<p>○子どもの文化・芸術活動の推進 子どもの文化・芸術活動の内容充実を図り、文化並びに芸術体験を推進します。</p> <p>○大人の文化・芸術活動の推進 村内の文化団体などに対する事業協力や支援を図り、成果等を発表する機会を設けます。</p> <p>○研修機会の確保 村民に研修の機会を与え、学びの深化を図るとともに学びの和を広げ、文化祭等での展示や発表につなげます。</p>

## 6 スポーツ・レクリエーションの推進

施策	主な取組
◆スポーツ・レクリエーションに親しめる環境整備	<p>○スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実 村所有のスポーツ・レクリエーション施設の環境整備に努め、村民が積極的且つ安全に活動を行える場を提供します。</p> <p>○指導者の育成・確保 天栄村体育協会との連携を図り、スポーツ指導者の育成や発掘に努めます。地域学校協働本部事業により、地域の人材バンクを確立し、ボランティアの育成を図るとともにリーダー育成のための、研修会の機会の確保に努めます。</p>
◆スポーツ・レクリエーションを通じた健康・ふれあいづくりの推進	<p>○村民の健康づくりとふれあいの機会の創出 村民の健康意識を高める場を設け、村民の健康増進とふれあいの機会を創出します。</p> <p><b>重点</b> ○スポーツ教室・イベント開催 天栄村体育協会と連携し「生涯スポーツフェスティバル」等のスポーツイベントの開催により、子どもから大人まで全ての世代がスポーツに触れる機会を創出し、村民の健康増進や生涯スポーツの推進を図ります。</p>

IV 令和6年度教育委員会事務事業 点検・評価の結果

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見	
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
1	スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業	子どもたちが抱える様々な問題に対する不安や課題の解決のために専門的な立場からサポートを行う。	学校や家庭、関係機関等との連携を図り総合的にアプローチができるよう活動する。  ・SSW 1名 天栄中学校に在籍	実績成果	支援状況	名	222	346	5	5	4	4	18	A	子どもや保護者が抱えている悩み、家庭や学校における課題について面談や家庭訪問等により状況を把握し、関係機関と連携し総合的な支援を行った。また、庁舎内に設置した適応指導教室「ほっとルーム」において、不登校の子どもたちの支援を行った。	継続	SSWは、不登校、発達障害、いじめ、家庭内の問題など、複雑かつ多岐にわたる事案に対応しており、その役割は容易なものではない。専門的な立場からのサポートは非常に重要であり、今後ますます必要性が高まると認識している。増員を含めた体制の強化について検討をいただきたい。
					訪問活動	件数	89	181									
					ケース会議	件数	25	31									
					連携回数	件数	202	272									
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他一般	千円	5,727	6,981									
合計	千円	5,727	6,981														
2	特別支援教育支援事業	特別な支援を要する子どもたちを支援するため特別支援教育支援員を配置する。	普通学級又は特別支援学級で生活する特別な支援を要する子どもたちを支援するため、支援が必要な小・中学校に特別支援教育支援員を配置する。	実績成果	広戸小学校	名	1	1	5	5	4	5	19	A	特別な支援を要する子どもたちに対し、教員と連携し、個々の特徴を理解した適切な支援・指導を行った。今後も、支援を要する子どもたちの増加、障害の重度化・重複化に対応した支援体制を充実させる必要がある。	継続	担任と支援員が児童・生徒に対する支援の内容や対応について十分に情報共有を行うことが重要である。個々に応じた適切な指導が行われるよう、常に情報を共有しながら支援体制の強化を図っていただきたい。
					大里小学校	名	1	1									
					牧本小学校	名	2	3									
					湯本小学校	名	1	1									
					天栄中学校	名	2	2									
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
その他一般	千円	13,848	17,515														
合計	千円	13,848	17,515														
3	外国語指導助手配置事業	外国語教育の充実を図るため、民間事業者との連携により外国語指導助手(ALT)を派遣招致し、幼・小・中学校での授業に関わり、外国語活動や語学力の向上に努める。	外国語指導助手2名を派遣で任用し、幼・小・中学校の授業に関わることで専門的指導を図り、英語に親しみ話せることを目的としてコミュニケーション能力を養い、英語の村てんえいを推進する。	実績成果	天栄幼稚園	回	29	23	5	5	4	5	19	A	外国語指導助手(ALT)2名を村内幼・小・中に派遣し、教員と連携して外国語指導を行うことにより、子どもたちの英語能力とコミュニケーション能力の向上に努めた。	継続	点検・評価は適正である。
					湯本幼稚園	回	42	41									
					湯本小学校	回	41	39									
					広戸小学校	回	41	39									
					大里小学校	回	40	39									
					天栄中学校	回	201	180									
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
起債	千円	0	0														
その他一般	千円	8,477	8,572														
合計	千円	8,477	8,572														

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見														
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察																
4	オンライン個別英会話レッスン事業	インターネットを活用し、外国人教師とマンツーマンで英会話の個別でレッスンをすることで、「英語で話す」を必然にしコミュニケーション能力の向上とともに英語教育の充実を図る。	【レッスン内容】 (小学校) ・単元の学習内容の復習 ・3～6年 ・年間6～24回程度  (中学校) ・学期の学習内容の復習 ・年間12回程度	実績成果	広戸小学校	回	24	24	4	3	2	3	12	C	マンツーマンの授業では、子ども達の英語力に個人差があり、ネイティブ講師の授業についていくのが難しい場面が見られた。また、授業の時間が現地の都合に合わせて決められ、スケジュール調整も容易ではなかったため、令和6年度をもって廃止とした。	廃止	点検・評価は適正である。													
					牧本小学校	回	24	24																						
					大里小学校	回	24	24																						
					湯本小学校	回	12	6																						
					天栄中学校	回	12	11																						
				事業費	国県支出金	千円	0	0																						
					起債	千円	0	0																						
					その他	千円	200	0																						
					一般	千円	1,342	1,687																						
					合計	千円	1,542	1,687																						
5	異文化体験授業	英語の村てんえいの推進として、村内に有する語学研修施設を活用した異文化体験を実施し、楽しく外国語に慣れ親む。	対象学年 【幼稚園】 年長 【小学校】 1～6年生 【中学校】 2年生	実績成果	幼稚園	名	-	28	4	4	4	4	16	B	英会話能力の向上と異文化理解を図るため小学校1年生から6年生(日帰り)と中学2年生(1泊2日)を対象に村内の民間施設を利用し実施した。また、令和6年度より、年長園児も保護者とともに楽しくレッスンを体験することができた。	継続	ブリティッシュヒルズは、その独特で魅力的な環境を生かし、特色ある教育を展開する場として非常に貴重な資源である。村の魅力の一つとして、教育や地域振興の観点からも積極的に活用していただきたい。													
					小学校	名	207	192																						
					中学校	名	30	38																						
				事業費	国県支出金	千円	0	0																						
					起債	千円	0	0																						
					その他	千円	2,000	2,000																						
					一般	千円	308	944																						
					合計	千円	2,308	2,944																						
				6	英語検定取得推進事業	「英語の村てんえい」の推進として、中学生全員が卒業するまでに英検3級の取得を目指す。英語に親しむための英検Jrにも支援する。	英語検定を受験する児童・生徒に対し、受験料の全額を年3回支援する。あわせて、小学生対象の「英検Jr」の受験料も支援する。	実績成果										小学校(英検)	名	1	20	5	4	4	4	17	A	目標の達成には至っていないが、子どもたちの学習意欲の向上につながっている。また、英検Jを受験することで、英語に親しみ、外国の文化を理解することにつながっている。	継続	点検・評価は適正である。
																		小学校(英検Jr)	名	4	18									
中学校	名	111	91																											
事業費	国県支出金	千円	0					0																						
	起債	千円	0					0																						
	その他	千円	0					0																						
	一般	千円	491					457																						
合計	千円	491	457																											

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察		
7	つなぐ教育推進事業	村内の教育課題の共有と共通事項の検討・実践・検証による幼・小・中の連携強化を推進し、子ども達の学力・教師の授業力の向上を図る。また、夏季休業中にサマースクールてんえいを開催し、ふるさと教育の充実と小中移行期の不安解消を図る。	1 つなぐ教育推進会議及び各部会、研修会の開催 2 サマースクールてんえいの開催(対象:5・6年生)	実績成果 部会・研修会等の開催 回数 サマースクール参加者 事業費 国県支出金 起債 その他 一般 合計	回 (5年)名 (6年)名 千円 千円 千円 千円 千円	7 35 43 0 0 0 257 257	8 42 35 0 0 0 280 280	5	5	4	5	19	A	幼・小・中が連携し教育課題の共有と検討・実践・検証し、教員の授業力の向上を図った。また、郷土愛を育む教育活動の推進と小中移行期の不安解消を図った。	継続	点検・評価は適正である。
8	特色ある学校づくり支援事業	特色ある学校づくりを支援するため、校風、地域の風土など特色を生かし、地域と連携した創意ある教育活動を推進する。	小・中学校の特色を生かした学校づくりの取り組みを推進するため、事業費を補助し各学校の取り組みを支援する。	実績成果 ふるさと教育 体力向上 スキー学習 教育環境整備 ICT教育 農業体験 ダンス教室 森林環境学習 学力向上 その他 事業費 国県支出金 起債 その他 一般 合計	校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 千円 千円 千円 千円 千円	1 1 1 3 3 2 1 - 3 3 0 0 0 500 500	1 - 1 4 3 2 1 1 2 2 0 0 0 500 500	4	5	4	4	17	A	各学校において地域にある資源、環境、人材を活用し、それぞれの地域の特色を生かした取組を行うことができた。今後は、地域と連携した相違ある取組となるよう支援する。	継続	特色ある教育は、現場の負担が大きいとは思いますが、村の魅力であり、素晴らしい取り組みである。村のPR価値を高める上でも大きな役割を果たすと考えるため、引き続き実施していただきたい。
9	ひとり暮らし高校生生活支援事業	村を離れひとり暮らしをする高校生の保護者を対象に、経済的負担軽減と教育機会の支援を図る。	【支援金の額】 (湯本地区・本庁管内) 2万円/月(上限)	実績成果 湯本地区 本庁管内 事業費 国県支出金 起債 その他 一般 合計	名 名 千円 千円 千円 千円 千円	3 0 0 0 0 720 720	1 2 0 0 0 521 521	5	5	4	5	19	A	R6年度は、3名の高校生の保護者の経済的負担の軽減を図り、教育機会の支援を図った。湯本地区に限らず本庁管内の子どもたちの制度利用者が増えてきている現状からも一層周知していくよう努める。	継続	この事業は、進学や通学のためにひとり暮らしをしている高校生の生活を支える心強い支援となっている。今後も事業の充実・継続を通じて、より多くの高校生の生活を支援していただきたい。

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見	
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
10	通学費補助事業	小・中学校の児童・生徒が遠隔の地から路線バスを利用して通学する場合の負担軽減として、路線バス料金を全額補助する。 (令和5年度は1/2補助)	【補助対象地区】 (広戸小)今坂・中屋敷 (大里小)南沢 (牧本小)西郷・下松本 ・戸ノ内屋敷・新屋敷 ・荒井屋敷 (天栄中)西郷・中郷・後藤・安養寺・南沢・沖内・高林・芹沢  【補助額】 定期券の全額	実績成果	広戸小学校	名	1	15	5	4	3	5	17	A	通学に係る路線バスの運賃の全額を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図り、子どもたちの通学の安全の確保に努めた。今後は、事務手続きの改善の検討が必要である。	継続	現在は補助対象地域が指定されているが、少子化により対象者が減少し、近年、事件や事故が報道されることから、子どもたちの安全で安心な通学を確保するためにも、対象地域を限定せず支援することを検討していただきたい。
					大里小学校	名	15	15									
					牧本小学校	名	84	96									
					天栄中学校	名	0	13									
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	1,300									
	一般	千円	531	97													
	合計	千円	531	1,397													
11	へき地児童・遠距離通学バス支援事業	湯本地区の園児・児童が安心して通園・通学できるようスクールバスを運行委託する。	年間を通してスクールバスの運行を福島交通に委託し安全な通学体制の確保を図る。	実績成果	幼稚園利用者数	名	2	3	5	4	3	5	17	A	子どもたちの安全な通園、通学の確保に努めた。 R7.10月より、湯本地区オンデマンドバス運行により、9月までで本事業は廃止となった。	廃止	点検・評価は適正である。
					小学校利用者数	名	4	2									
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
					一般	千円	8,380	9,872									
	合計	千円	8,380	9,872													
12	へき地生徒遠距離通学タクシー支援事業(新規)	湯本地区の生徒が安心して通学できるようタクシーを運行委託する。	年間を通してタクシーの運行を長沼タクシーに委託し安全な通学体制の確保を図る。	実績成果	生徒利用者数	名	-	2	5	4	3	5	17	A	生徒たちの安全な通学の確保に努めた。今後も、利便性を考慮したより効率的な運行方法を検討する必要がある。	継続	点検・評価は適正である。
				事業費	国県支出金	千円	-	5,626									
					起債	千円	-	0									
					その他	千円	-	0									
					一般	千円	-	6,348									
	合計	千円	0	11,974													
13	天栄幼稚園通園バス支援事業	天栄幼稚園児が安心して通園出来るよう通園バスを運行委託する。	年間を通して安全な通園体制の確保を図る。  【運行体系】 広戸・大里・牧本方面に各1台運行  【対象園児】 年長児・年中児	実績成果	利用園児数	名	39	57	4	5	4	5	18	A	年長・年中を対象に通園の安全確保に努めた。今後は、年少も対象とすることも視野に入れたより効率的な運行方法についても検討を行う必要がある。	継続	点検・評価は適正である。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	7,600									
					一般	千円	14,715	10,424									
	合計	千円	14,715	18,024													

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見	
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
14	預かり保育事業	天栄幼稚園及び湯本幼稚園に入園している園児について、両親が職業を持つなど、家庭での保育が困難と認められた場合において実施する。	<p>【保育日】 毎週月曜～土曜日(年末年始、祝祭日を除く)</p> <p>【実施時間】 午前7時30分～午後6時30分(幼稚園教育時間を除く)</p> <p>【保育料】 (天栄幼稚園) 月の利用が13日以上の場合 6,500円/月 月の利用が12日以下の場合 500円/日</p> <p>(湯本幼稚園) 月の利用が13日以上の場合 2,000円/月 月の利用が12日以下の場合 150円/日</p>	実績成果	天栄幼稚園	名	54	62	5	5	4	5	19	A	両親の共働きや労働時間の延長など家庭での保育が困難な保護者のニーズに対応する事ができた。今後も職員の確保や設備の充実を図り、安全面を配慮した保育を行うよう努める。	継続	核家族化等に伴い、その需要は今後さらに高まることが予想される。こうした背景を踏まえ、事業の継続はもちろんのこと、対象やサービス内容の拡充についても検討いただき、より幅広い家庭のニーズに対応できる体制を整えていただきたい。
湯本幼稚園	名	2	3														
事業費	国県支出金	千円	0	0													
	起債	千円	0	0													
	その他	千円	0	0													
	一般	千円	5,700	7,513													
合計	千円	5,700	7,513														
15	学校給食費の無償化(新規)	村内の幼稚園・小学校・中学校の給食費を無償化し、保護者の経済的負担を軽減するとともに、子どもの健やかな成長を支援する。	<p>1 幼稚園 1食単価 333円 給食回数 170回</p> <p>2 小学校 1食単価 347円 給食回数 175回</p> <p>3 中学校 1食単価 399円 給食回数 175回</p>	実績成果	幼稚園	名	-	85	5	5	5	5	20	A	令和5年度までは、小学校・中学校で給食費の3分の1の補助を実施していたが、令和6年度からは子ども達すべての完全無償化を実施し、子育て支援の拡充を図った。できるだけ多くの地元産の食材を確保し提供しよう努める。	継続	点検・評価は適正である。
小学校	名	-	192														
中学校	名	-	110														
事業費	国県支出金	千円	-	0													
	起債	千円	-	0													
	その他	千円	-	0													
	一般	千円	-	24,135													
合計	千円	0	24,135														

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見	
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
16	給付型奨学金制度 (新規)	経済的理由により大学等に修学が困難な方に奨学資金を支払い、有為な人材育成を図る。	本人または、保護者が村内に在住し、経済的な理由により修学が困難である方に、月額5万円で、原則返還義務なし。	実績成果	対象者	名	-	0	5	5	4	2	16	B	4件の申請があったが、認定された者はいなかった。認定基準等について再度検討する余地がある。	継続	本制度は、経済的理由で修学が困難な家庭を支援するため、世帯収入や資産に基づき厳正に審査されていると理解しますが、日本学生支援機構の給付型奨学金が既にあるため、村独自制度の必要性は低いとも感じます。引き続き申請基準や運用の見直しを進め、教育機会の拡充に努めていただきたい。
				事業費	国県支出金	千円	-	0									
					起債	千円	-	0									
					その他	千円	-	0									
					一般	千円	-	0									
合計	千円	0	0														
17	村内小中学生ふるさと夢未来応援事業 (新規)	小中学生の将来の夢や希望、取り組みたい仕事等、その未来の実現に向かう力を養い伸ばす。	天栄中2年生を対象とした「表現力育成ワークショップ」の開催。	実績成果	天栄中学校	名	-	35	4	4	3	4	15	B	本村出身俳優を講師に迎え2日間にわたり、演劇をおし表現力を学ぶことができた。今後も2年生を対象にワークショップを開催するとともに、さらに小学生にも対象を広げ、普段の教育活動とは違う貴重な体験や活動のための支援を行う。	継続	点検・評価は適正である。
				事業費	国県支出金	千円	-	0									
					起債	千円	-	0									
					その他	千円	-	0									
					一般	千円	-	1,740									
合計	千円	0	1,740														
18	民間塾講師を活用した学習支援事業	天栄中学校生徒の学力向上・進路希望の実現に向けた支援を行う。	中学3年生や中学2年生を対象に民間の塾講師による学習支援を夏期と冬期に実施。	実績成果	天栄中学校	回	25	44	5	4	4	4	17	A	夏期と冬期にわたり、通常とは異なる民間塾講師を指導に迎え、学習支援を行い、学力向上を図った。今後も生徒たちの学力向上に向け支援する。	継続	塾通いにかかる保護者の経済的負担を軽減する効果が期待できる点で非常に良い取り組みである。継続して事業を実施していただきたい。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	1,700									
					一般	千円	1,510	94									
合計	千円	1,510	1,794														

## IV 令和6年度教育委員会事務事業 点検・評価の結果

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト					事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
1	放課後子ども教室推進事業	放課後等の子ども達の活動拠点の推進を図る。	放課後及び長期休暇の際の子ども達の学習活動の場を提供。	実績成果	大里子ども教室	名	45	45	5	5	3	5	18	A	近年は、少子化による放課後の遊び相手がない地区が多く、放課後の安全な居場所作りを目的に、子供たちの学習や体験活動の機会を提供できている。	継続	コーディネーターや安全管理員の人材確保が容易ではないと思いますが、子どもたちへの居場所づくりは必要ですので今後も適切な事業展開に取り組んでいただきたい。
					枚本子ども教室	名	52	52									
					夏休み子ども教室	名	55	56									
					冬休み子ども教室	名	20	35									
					春休み子ども教室	名	40	44									
事業費	国県支出金	千円	4,554	4,968	5	5	3	5	18	A	近年は、少子化による放課後の遊び相手がない地区が多く、放課後の安全な居場所作りを目的に、子供たちの学習や体験活動の機会を提供できている。	継続	コーディネーターや安全管理員の人材確保が容易ではないと思いますが、子どもたちへの居場所づくりは必要ですので今後も適切な事業展開に取り組んでいただきたい。				
	起債	千円	0	0													
	その他	千円	0	0													
	一般	千円	4,251	4,091													
	合計	千円	8,805	9,059													
2	地域学校協働活動事業	学校と地域が協働のもと連携し、学校教育の支援や地域コミュニティの醸成を図る。	英会話教室・部活動支援・地域協働活動。	実績成果	小学生英会話教室	回	18	23	5	5	3	3	16	B	教員の多忙化解消及び地域や異学年との交流を目的に、学校の要望を概ね達成できた。併せて学校と地域が協力し村民の学習意欲向上に寄与している。	継続	点検・評価は適正である。
					大人の英会話教室	回	10	14									
					幼児・親の英会話教室	回	9	8									
					地域協働活動	件	6	6									
					部活動支援	回	随時	随時									
					国県支出金	千円	1,552	764									
					起債	千円	0	0									
その他	千円	0	0														
一般	千円	973	1,796														
合計	千円	2,525	2,560														
3	20歳の集い・10歳の集い	青年の社会人としての門出を祝福する。また、1/2成人式の開催により、異世代間の交流を行う。	20歳及び10歳の門出を祝う式典の開催。	実績成果	20歳の集い	名	52	59	5	5	4	4	18	A	20歳としての区切りの歳を祝い、自覚を培い、門出を祝うとともに、半分の10歳到達者には将来を想像する場を提供できている。	継続	成長の節目を祝う場として今後も適切な事業展開に努めていただきたい。
					10歳の集い	名	42	30									
					国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
一般	千円	668	665														
合計	千円	668	665														
4	読書村運動推進事業	村民の読書離れの改善や読書習慣の向上を図る。	「図書室だより」の発行及び「私のおすすめ本」の執筆啓蒙。	実績成果	「図書室だより」の発行	回	12	12	5	5	4	4	18	A	「図書室だより」を発行し、図書室の利用向上を図った。また、利用者自らが参加する企画として、図書室内の本を紹介する「おすすめ本」の執筆も行い読書の推進を図った。	継続	本に親しむ機会を図り、図書室利用の向上と読書推進に努めていただきたい。
					「私のおすすめ本」執筆	回	12	12									
					国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
一般	千円	17	6														
合計	千円	17	6														

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見		
				区 分	単 位	R5年度 実績	R6年度 実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察				
5	つなぐ英語教育推進事業	早稲田大学国際教養学部と天栄中との英語を媒体とした交流を通して英語への学習意欲の向上を図る。	交流会の開催。	実績成果	交流会の実施	回	2	1	3	4	3	4	14	B	国際的な視野を養う目的で実施しており、大学生の人数確保や送迎に要する費用が大きいため、改善を考慮する必要があると考える。	継続	点検・評価は適正である。	
					事業費	国県支出金	千円	0										0
						起 債	千円	0										0
						そ の 他	千円	0										0
						一 般	千円	365										362
合 計	千円	365	362															
6	文化祭	村民に日ごろの活動の成果を発表する機会を提供し、地域コミュニティの活性化と生涯学習の推進を図る。	開催により村民の生涯学習活動や学校活動の成果を展示、発表する場を提供する。	実績成果	天栄村文化祭	日名	2	2	4	4	3	4	15	B	村民が1年間を通して行ってきた生涯学習活動や、学校活動の発表する場を提供できている。	継続	日頃の活動の成果を発表する場として、学校活動等も周知できるため有効であることから今後も適切な事業展開に努めていただきたい。	
					事業費	国県支出金	千円	0										0
						起 債	千円	0										0
						そ の 他	千円	0										0
						一 般	千円	1,660										1,600
合 計	千円	1,660	1,600															
7	森の美術館	児童・生徒の作品を常時展示し、村民の文化・芸術への関心を高める。	生涯学習センター図書室で作品を展示。	実績成果	展示期間4~3月	一	8校90点	8校84点	5	4	4	4	17	A	幼稚園、小中学校の園児、児童、生徒の図画、工作作品を月替わりに展示し、図書室の中にマッチして利用者にも良い印象を与えており、継続していきたい。	継続	点検・評価は適正である。	
					幼稚園2園	点	5	4										
					小学校4校	点	46	33										
					中学校1校	点	34	37										
					特別支援学級	点	5	10										
事業費	国県支出金	千円	0	0														
	起 債	千円	0	0														
	そ の 他	千円	0	0														
	一 般	千円	75	69														
合 計	千円	75	69															
8	俳句ポスト事業	子どもたちが俳句を学ぶことにより豊かな感性の育成を図る。	年2回募集し、各10句を選定。年間賞を決定し、文化祭に展示。	実績成果	1期募集	点	265	240	4	3	3	3	13	B	豊かな感性を伸ばす教育の一助となっている。自由投句としているが各学校からの応募も多く一定の成果はあるものと思われる。	継続	俳句に興味を持ってもらうことで豊かな表現力や感受性を育むことができることから今後も適切な事業展開に努めていただきたい。	
					2期募集	点	130	145										
					総数	点	395	385										
					事業費	国県支出金	千円	0										0
						起 債	千円	0										0
そ の 他	千円	0	0															
一 般	千円	40	40															
合 計	千円	40	40															

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見					
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察							
9	さつき・山野草展	さつき・山野草展を通じて、村民に情操教育を促す。	さつき・山野草展の開催。文化祭での菊花の展示。	実績成果	展示期間	点	32	39	3	3	3	3	12	C	村盆栽愛好会に所属する高齢者の生きがいがいづくりとして、日々の成果を発表する機会を提供できている。	継続	高齢者の生きがいがいづくりや交流の場として重要な事業であることから内容等を精査し適切な事業展開に努めていただきたい。				
					5/31～6/1																
				展示期間	点	33	37														
				10/26～27																	
				事業費	国県支出金	千円	0	0													
起債	千円	0	0																		
その他	千円	0	0																		
一般	千円	53	64																		
合計	千円	53	64																		
10	芸術・文化鑑賞会	村民の見聞を広め、文化振興を図る。	文化講演会の一環として、新春初笑い寄席を開催。	実績成果	出演者	名・組	4名	4名	4	4	3	4	15	B	新春初笑い「天栄寄席」と題し、落語家による寄席を開催した。村民が身近で芸術・文化に触れる良い機会となっている。	継続	村民が身近に文化芸術に触れる機会として有効であることから今後も適切な事業展開に努めていただきたい。				
					観覧者	名	180	200													
				事業費	国県支出金	千円	0	0													
				起債	千円	0	0														
				その他	千円	0	0														
一般	千円	1,039	1,087																		
合計	千円	1,039	1,087																		
11	演芸発表会	芸能団体等の発表の場を提供し、村の芸術文化の発展を図る。	村内の芸能団体や個人の発表会を開催。	実績成果	出演者	団体	7	5	4	4	3	4	15	B	発表者や参加者の満足度は非常に高い。現在の発表者は高齢者がほとんどであり、若者が参加できるような、運営方法等を検討する必要がある。	継続	練習成果の発表の場として有効であるが、発表者の高齢化が進んでいることから内容等を精査し適切な事業展開に努めていただきたい。				
					プログラム	数	35	52													
				観覧者	名	100	150														
				事業費	国県支出金	千円	0	0													
				起債	千円	0	0														
その他	千円	0	0																		
一般	千円	147	149																		
合計	千円	147	149																		
12	文化財等保護事業	村内文化財の適切な保護。	文化財パトロールの実施及び環境整備。	実績成果	文化財保護審議委員	名	4	4	5	4	4	4	17	A	村文化財のパトロールや環境整備をとおり、文化財の保全に努めた。また、文化財保護審議委員に小学生のふるさと学び教室や歴史教室などの講師を務めてもらうことで、活動の場を提供し、村の文化伝承に寄与している。	継続	文化財保護は重要であることから適切な事業展開に取り組むとともに、文化財保護審議員の定数確保にも努めていただきたい。				
					パトロール	回	4	5													
				環境整備	回	2	1														
				事業費	国県支出金	千円	0	0													
				起債	千円	0	0														
その他	千円	0	0																		
一般	千円	599	600																		
合計	千円	599	600																		

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見		
				区 分	単 位	R5年度 実績	R6年度 実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察				
13	図書購入事業	生涯学習センター図書室の図書の充実を図り、読書に親しんでもらえる施設づくりを図る。	図書等の購入。	実績成果	図書購入	冊	544	563	5	5	4	4	18	A	利用者からのリクエストや各種文学賞受賞作品などを中心に購入した。また、新刊図書コーナーや特集コーナーを設け、図書に触れ合う機会を提供している。	継続	点検・評価は適正である。	
					DVD購入	本	26	5										
					事業費	国県支出金	千円	0										0
					起 債	千円	0	0										
					そ の 他	千円	0	0										
一 般	千円	1,022	1,037															
合 計	千円	1,022	1,037															
14	歴史学び教室	小学生に身近な文化財に触れてもらい、郷土の歴史を学ぶ機会を図ることで、ふるさと教育を推進する。	教室の開催。	実績成果	広戸小	名	15	19	5	5	4	4	18	A	小学6年生が、村内の文化財に触れ、歴史を学ぶことで、ふるさと教育の実現に大きく寄与している。	継続	点検・評価は適正である。	
					大里・湯本小	名	25	23										
					牧本小	名	12	16										
					事業費	国県支出金	千円	0										0
					起 債	千円	0	0										
そ の 他	千円	0	0															
一 般	千円	57	56															
合 計	千円	57	56															
15	てんえいアクティビティクラブ開催事業	村内小学生に様々な体験をさせ、ふるさと教育を推進する。	湯本地区の自然や風土を活かした体験活動。	実績成果	講座の開催	回	5	5	5	5	4	4	18	A	湯本しぜん塾との共催により、異なる学校、地域間の交流を行う中で、郷土の魅力を発見する機会を提供できた。愛村心教育に必要である。	継続	村の自然環境が活かされ、子どもたちの地域間交流にもつながるため今後も取り組んでいただきたい。	
					参加者	名	延べ93	延べ77										
					事業費	国県支出金	千円	0										0
					起 債	千円	0	0										
					そ の 他	千円	0	0										
一 般	千円	89	151															
合 計	千円	89	151															
16	家庭劇場開催事業	生の演劇を鑑賞することにより、芸術意識の向上を図る。	劇団による演劇鑑賞。	実績成果	小学生(1~4年生)	名	151	141	5	4	3	4	16	B	生の演劇を鑑賞する機会を提供し、芸術に触れ合うことができ、感性や想像力等を育むことができた。	継続	生の演劇を鑑賞することで豊かな感性や想像力等が養えることから今後も取り組んでいただきたい。	
					天栄幼稚園(祖父母参観時)	名	101	85										
					事業費	国県支出金	千円	0										0
					起 債	千円	0	0										
					そ の 他	千円	0	0										
一 般	千円	464	419															
合 計	千円	464	419															

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見	
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
17	立志式	中学2年生を対象に大人になるための心構えをもつ機会を提供し、家族愛、郷土愛を育む機会の提供。	式典の開催。	実績成果	式典開催 天栄中(2年生)	名	41	37	3	3	3	3	12	C	大人になるための自覚を持ち、併せて将来への目標を掲げる機会であるが、別事業(20歳の集い・10歳の集い)もあり、併せて教職員の働き方改革の一助にもなり得ることから節目を祝う式としては不要と捉える。	廃止	点検・評価は適正である。
事業費	国県支出金	千円	0	0													
起債	千円	0	0														
その他一般	千円	0	0														
合計	千円	105	102														
18	寿大学開催事業	生きがいがづくりや仲間づくりを目的とし、生き生きと過ごすための講座。	各種教養・健康講座、移動学習等を実施。	実績成果	各種講座等開催 回数 参加者	回 名	8 延べ178	8 延べ149	5	5	3	4	17	A	高齢者の学習機会や交流の場の提供をしており、概ね目的は達成している。内容の充実を図り引き続き新規参加者の確保に務めたい。	継続	高齢者の生きがいがづくりや交流の場として重要な事業であることから内容等を精査し適切な事業展開に努めていただきたい。
事業費	国県支出金	千円	0	0													
起債	千円	0	0														
その他一般	千円	0	0														
合計	千円	253	84														
19	チェアヨガ教室開催事業	心と身体を整える健康で長寿を目指すための講座。健康寿命の延伸を図る。	健康な身体づくりとして、手軽に無理なく運動をすることが可能な椅子に座ってできるヨガ。	実績成果	講座開催 回数 参加者	回 名	2 延べ29	3 延べ39	5	5	4	4	18	A	誰でも無理なく運動ができ、かつ健康づくりに最適との観点から口コミで参加者が増えており、引き続き健康維持のため回数を増やしながら実施していく。	継続	健康な身体づくりの観点から重要な事業であることから内容等を精査し適切な事業展開に努めていただきたい。
事業費	国県支出金	千円	0	0													
起債	千円	0	0														
その他一般	千円	14	21														
合計	千円	14	21														
20	健康食講座開催事業(新規)	食の観点から健康で長寿を目指すための講座。健康寿命の延伸を図る。	食事は栄養のバランスや質を考慮した減塩食や発酵食について学び実際に調理する。	実績成果	教室開催 回数 参加者	回 名	- 延べ12	2	5	4	5	4	18	A	食の観点から健康維持ということで実施している。栄養士指導のもと実施しており今後も参加者増に努めていく。	継続	健康長寿の観点から重要な事業であることから内容等を精査し適切な事業展開に努めていただきたい。
事業費	国県支出金	千円	-	0													
起債	千円	-	0														
その他一般	千円	-	0														
合計	千円	-	0														

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見	
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
21	てんえい歴史教室開催事業	天栄の歴史や文化を学ぶことにより歴史の伝承者を育成する。	歴史教室を開催。	実績成果	歴史教室	回数	3	2	4	3	3	3	13	B	令和6年度より回数を2回とし、村内の文化財巡りを実施し、延べ18名の参加者があった。村内にあっても、なかなか見る機会がない文化財もあり、良い機会となった。また、講師の選定が難しい現状がある。	継続	地元の歴史を学ぶことで伝承につながり、内容次第では参加者も増えると思うので適切な事業展開に取り組むとともに、講師の確保にも努めていただきたい。
					参加者	回名	延べ24	延べ18									
					古文書解読講座	回数	1	-									
					参加者	回	延べ3	-									
事業費	国県支出金	千円	0	0	5	4	4	4	17	A	人生の生きがいがづくりとスキルアップのために展開。見識向上のためにも引き続き実施し参加者増を目指したい。	継続	事業の有効性を精査した上で適切な事業展開に努めていただきたい。				
	起債	千円	0	0													
	その他	千円	0	0													
	一般	千円	12	25													
合計	千円	12	25														
22	福島県の伝統工芸品等学び講座開催事業(新規)	県内には伝統工芸品等がたくさん継承されている。文化の伝承も含め、実際に訪問し、歴史や経緯に触れて学び個人のスキルアップに役立てる。	専門員からこれまでの歴史などの話を聞き・学び・実際に体験して学ぶ。	実績成果	講座開催	回数	-	2	5	4	4	4	17	A	人生の生きがいがづくりとスキルアップのために展開。見識向上のためにも引き続き実施し参加者増を目指したい。	継続	事業の有効性を精査した上で適切な事業展開に努めていただきたい。
					参加者	回名	-	延べ29									
					国県支出金	千円	-	0									
					起債	千円	-	0									
その他	千円	-	0	5	4	4	4	17	A	普段生活する上で、更なる技術向上や新たな趣味づくり、さらに交流を深めるなど生涯有効であることから継続したい。	継続	事業の有効性を精査した上で適切な事業展開に努めていただきたい。					
一般	千円	-	39														
合計	千円	-	39														
23	1UPチャレンジ開催事業(新規)	人生の生きがいがづくりの一助となるよう普段生活する上でちょっとした新たなチャレンジを促すもの。	美味しいコーヒーの淹れ方や己書など専門の講師から指導を受け見識を高める。	実績成果	講座開催	回数	-	4	5	4	4	4	17	A	普段生活する上で、更なる技術向上や新たな趣味づくり、さらに交流を深めるなど生涯有効であることから継続したい。	継続	事業の有効性を精査した上で適切な事業展開に努めていただきたい。
					参加者	回名	-	延べ30									
					国県支出金	千円	-	0									
					起債	千円	-	0									
その他	千円	-	0	5	4	4	4	17	A	親子一緒に何かに取り組むことで、親子の絆を深めるとともに、参加者間での交流を図る観点から大変重要であると捉え今後も展開したい。	継続	事業の有効性を精査した上で適切な事業展開に努めていただきたい。					
一般	千円	-	26														
合計	千円	-	26														
24	親子体験講座開催事業(新規)	地域の子供たちに色々な体験をさせることで、より豊かな感性を身につける。	親子でアイシングクッキーづくりやキャンドルづくりを体験する。	実績成果	講座開催	回数	-	2	5	4	4	4	17	A	親子一緒に何かに取り組むことで、親子の絆を深めるとともに、参加者間での交流を図る観点から大変重要であると捉え今後も展開したい。	継続	事業の有効性を精査した上で適切な事業展開に努めていただきたい。
					参加者	回名	-	35									
					国県支出金	千円	-	0									
					起債	千円	-	0									
その他	千円	-	0	5	4	4	4	17	A	親子一緒に何かに取り組むことで、親子の絆を深めるとともに、参加者間での交流を図る観点から大変重要であると捉え今後も展開したい。	継続	事業の有効性を精査した上で適切な事業展開に努めていただきたい。					
一般	千円	-	12														
合計	千円	-	12														

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見	
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
25	読み聞かせ会 開催事業	子どもたちが 本に触れる機 会の創出。	定期的に読み 聞かせ会を生 涯学習セン ター図書室で 実施し、幼少 期に本に慣れ 親しんでもら う。	実績成果	講座開催 回数 参加者	回 名	4 22	4 51	4	4	4	4	16	B	地域の方を読み手に 起用し地域協働のも と実施。徐々に参加 者も増えつつあるこ とから継続した事業 展開を図りたい。	継続	点検・評価は適正であ る。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起 債	千円	0	0									
					そ の 他	千円	0	0									
					一 般	千円	8	24									
合 計	千円	8	24														
26	スキー・スノー ボード教室開 催事業	冬期間の運動 機会の確保の ため、ウィン タースポーツ を体験すること により、子ど もの体力向上 を目指す。	県内のスキー 場を活用し、 子どもたちの 運動機会を確 保し体力向上 を図るもの。	実績成果	教室開催 回数 参加者	回 名	1 19	1 18	4	4	4	4	16	B	村内スキー場利用が 不可能となり県内 での開催となってしま ったが冬期間の運動 機会の確保の観点 からその一助のため にも継続したい。	継続	点検・評価は適正であ る。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起 債	千円	0	0									
					そ の 他	千円	0	0									
					一 般	千円	76	125									
合 計	千円	76	125														
27	スケート教室 開催事業	冬期間の運動 機会の確保の ため、ウィン タースポーツ を体験すること により、子ど もの体力向上 を目指す。	県内のスケ ート場を活用し、 子どもたちの 運動機会を確 保し体力向上 を図るもの。	実績成果	教室開催 回数 参加者	回 名		1 19	4	4	3	4	15	B	冬期間の運動機会を 提供する場として貢 献できている。	継続	事業の有効性を精査し た上で適切な事業展開 に努めていただきたい。
				事業費	国県支出金	千円	-	0									
					起 債	千円	-	0									
					そ の 他	千円	-	0									
					一 般	千円	-	33									
合 計	千円	-	33														
28	天栄村プール 回数券等助成 事業	村民の体力向 上を図る。	「鏡石町民 プールすいすい」、 「矢吹町 温水プール」 の利用者へ回 数券等購入費 の一部を補助 し、体力向上 に寄与する。	実績成果	プール回数券購 入費用助成	名	27	29	4	4	4	4	16	B	無理なくできる運動 という観点から継続 利用の方が多い。新 規募集も含め今後も 広く周知しながら事 業展開を図りたい。	継続	点検・評価は適正であ る。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起 債	千円	0	0									
					そ の 他	千円	0	0									
					一 般	千円	80	80									
合 計	千円	80	80														

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見		
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察				
29	天栄村スキーリフト券購入助成事業	冬期間の村民の体力向上を図る。	県内スキー場の利用者へ回数券等購入費の一部を補助し、冬期間の体力向上に寄与する。	実績成果	スキーリフト券購入費用助成	名	85	98	4	4	4	4	16	B	継続利用の方が多い。新規募集も含め今後も広く周知しながら事業展開を図りたい。	継続	冬期間の健康維持のため大変有効であり引き続き広く周知しながら利用促進を図っていただきたい。	
				事業費	国県支出金	千円	0	0										
					起債	千円	0	0										
					その他	千円	0	0										
一般	千円	706	604															
合計	千円	706	604															
30	天栄村体育協会助成事業	体育協会を中心とした、各種競技団体の育成及びスポーツの振興を図る。	天栄村体育協会事業の実施。	実績成果	スポーツフェスティバルの開催	人	200	200	5	5	3	4	17	A	村民の健康やスポーツの振興に向け事業展開しており村事業への協力やスポーツ少年団をはじめとする、各種スポーツ団体の育成に貢献、村のスポーツ活動には必要な団体である。	継続	点検・評価は適正である。	
				事業費	モルック大会の開催	人	-	59										
					各種団体の育成	団体	13	13										
					国県支出金	千円	0	0										
起債	千円	0	0															
その他	千円	0	0															
一般	千円	1,800	1,880															
合計	千円	1,800	1,880															
31	ふくしま駅伝天栄村実行委員会助成事業	ふくしま駅伝を通しての選手育成・強化を図る。	ふくしま駅伝天栄村実行委員会事業の実施。	実績成果	ふくしま駅伝への出場		総合35位 村の部8位	総合26位 村の部4位	4	4	3	3	14	B	大会に向けての練習や本番の中で、個人の長距離走の競技力向上や、異なる世代間交流機会の提供に繋がっている。しかしながら選手の確保やスタッフの確保が難しくなっている現状がある。	継続	点検・評価は適正である。	
				事業費	選手育成・指導 各種大会への参加													
					国県支出金	千円	0	0										
					起債	千円	0	0										
その他	千円	0	0															
一般	千円	1,460	1,700															
合計	千円	1,460	1,700															
32	スポーツ雪合戦東日本大会実行委員会助成事業	冬期間の新スポーツの振興と青少年の健全育成等に寄与する。	スポーツ雪合戦東日本大会の実施。	実績成果	大会に係る準備・運営		28	35	2	2	2	3	9	D	村を会場にした冬季イベント開催に係る運営費の一部を補助するもので、村のPRや活性化にもつながるため引き続き実施したい。	継続	冬期間のスポーツイベントとして県内外からの参加があり、村のPRや活性化につながるため継続できるよう促していただきたい。	
				事業費	参加チーム開催日	団体		R6.1.21 R6.1.28										R7.1.19 R7.1.26
					国県支出金	千円	0	0										
					起債	千円	0	0										
その他	千円	0	0															
一般	千円	400	400															
合計	千円	400	400															

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見	
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
33	天栄村女性団体連絡協議会助成事業	村内各種女性団体の連絡・協調及び女性地位の向上を図る。	女性団体連絡協議会事業の実施。	実績成果	会議の開催	回	2	2	3	3	3	3	12	C	村内唯一の女性団体を統轄する団体なので引き続き継続していきたい。	継続	点検・評価は適正である。
					視察研修参加交流会	名	18	16									
						名	-	7									
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
34	天栄村青少年育成村民会議助成事業	地域と関係機関が連携を深めながら、青少年の健全育成と家庭教育の支援の推進を図る。	天栄村青少年育成村民会議事業の実施。	実績成果	水難事故防止救急救命講習会	名	-	23	5	5	4	4	18	A	青少年の健全育成の母体としての機能を有している。子どもたちの安全確保につながっている。	継続	点検・評価は適正である。
					愛の一声運動	名	43	46									
					少年の主張・英語スピーチの開催	件	0	3									
環境浄化活動	校	-	7														
35	天栄山黄金太鼓保存会助成事業	伝統文化の継承を図る。	天栄山黄金太鼓保存会事業の実施。	実績成果	活動事業の補助	名	19	19	3	3	3	3	12	C	会員の減少がみられる。しかしながら村伝統の技術であり継承も含め継続が必要かと思われる。	継続	伝統文化の継承は大切であり必要な事業と思われる。存続できるよう会員維持を促していただきたい。
					会員数	名											
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
36	天栄村国際交流協会助成事業	国際化時代に対応し、村民の国際交流の推進を図る。	天栄村国際交流協会事業の実施。	実績成果	会議の開催	回	2	2	4	4	3	3	14	B	やさしい日本語教室の開催やフリテッシュヒルズと連携した交流事業等を開催し、会員と外国人との交流が図られた。	継続	点検・評価は適正である。
					セミナー開催	人	9	13									
					交流会	人	12	57									
						回	1	2									
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
起債	千円	0	0														
その他	千円	0	0														
一般	千円	200	200														
	合計	千円	200	200													

IV 令和6年度教育委員会事務事業 点検・評価の結果

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見	
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
1	湯本地区文化祭開催事業	各種展示及び文化事業をとおり、住民の芸術文化の高揚を図り、健康で明るい豊かな村づくりに寄与する。	1日間の開催で、創作作品の展示や農林産物の展示即売会、湯本幼稚園・湯本小学校のステージ発表等を実施。	実績成果	湯本地区文化祭	—	約100名	約100名	5	5	4	5	19	A	湯本幼稚園・湯本小学校のステージ発表、公民館事業での吊るし飾りやいきいき学び大学の作品展示、書道教室等の作品発表の場でもあり、農林産物展や地元消防署の展示など、住民参加で村づくりに寄与している。	継続	湯本地域の活気づくりに必要な事業と思われる。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
					一般	千円	543	583									
合計	千円	543	583														
2	湯本いきいきまなび大学開催事業	歩んできた人生経験を生かし、今を豊かに生きるために学び、心身の健康増進を図りながら、楽しい充実した人生を送ることを目的とする。	60歳以上の方を対象に、教養講座や世代間交流、健康体操などを実施。	実績成果	各種講座等	—	受講者16名 11回開催 延141名	受講者16名 11回開催 延111名	5	5	4	5	19	A	60歳以上の方に、心身の健康増進を図ることができた。	継続	点検・評価は適正である。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
					一般	千円	133	197									
合計	千円	133	197														
3	湯本しぜん塾開催事業	子ども達が、地元の自然や歴史や文化を、来て・見て・楽しみ、地域への愛着を持ってもらう。	湯本のお寺・周辺散策、溪流釣り体験、川遊び、野山探索、正月飾りづくり体験、雪上運動会等。	実績成果	各種体験教室	—	受講者13名 5回開催 延24名	受講者13名 6回開催 延42名	5	5	4	4	18	A	地元の子供達が、地元を知るきっかけとなり、ふるさと教育につながった。	継続	子どもたちの地域間交流の事業としての価値も高いと思われる。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
					一般	千円	61	25									
合計	千円	61	25														

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見	
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
4	ゴルフ講座開催事業	村内2つのゴルフ場を利用し、ゴルフ未経験者や初心者の方を対象に心身の健康増進を図る。	一般村民を対象に実施。 場所：太平洋クラブ白河リゾート、白河メドウゴルフ倶楽部 時間：13:30～15:30 参加料：1回1,000円	実績成果	ゴルフ講座	—	受講者 6名 3回開催 延15名	受講者 8名 5回開催 延24名	4	4	4	4	16	B	ゴルフ未経験者や初心者の方を対象に心身の健康増進を図ることができた。	継続	点検・評価は適正である。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
					一般	千円	20	15									
合計	千円	20	15														
5	福島の伝統工芸品学び講座開催事業	福島県内の伝統工芸品について、由来等の話や体験をとおして見識を深める。	一般村民を対象に1回実施。 場所：昭和村からむし織体験、赤べこ絵付け体験 参加費：施設利用料	実績成果	福島の伝統工芸品学び講座	—	受講者 17名 2回開催 延22名	受講者 18名 2回開催 延23名	4	4	4	4	16	B	福島県内の伝統工芸品について、見識を深めることができ、参加者の交流を図ることができた。	継続	年配の方が県内の他地域へ見聞を広める良い機会と思われる。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
					一般	千円	29	46									
合計	千円	29	46														
6	アンチエイジング教室開催事業	減塩などのバランスを考えた食生活や気軽にできるトレーニングを学び、心身の健康増進を図る。	一般村民を対象に実施。 時間：9:00～11:00 参加費：無料	実績成果	食生活・トレーニング	—	受講者 13名 4回開催 延30名	受講者 14名 4回開催 延28名	4	4	4	4	16	B	減塩などのバランスを考えた食生活や気軽にできるトレーニングを学び、心身の健康増進を図ることができた。	継続	点検・評価は適正である。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
					一般	千円	17	6									
合計	千円	17	6														

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見	
				区分	単位	R5年度実績	R6年度実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
7	つるし飾り教室開催事業	つるし飾り教室を通じて、手先を重点的に動かすことで認知予防に努めるとともに、憩いの場や生きがいつくりを努める。	一般村民を対象に実施。 時間：13:30～15:00 参加費：無料	実績成果	つるし飾り教室	—	受講者 18名 25回開催 延257名	受講者 18名 24回開催 延225名	5	4	4	4	17	A	憩いの場、生きがいつくりにつながった。	継続	住民同士の交流の場になっており、必要な事業と思われる。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
					一般	千円	0	82									
合計	千円	0	82														
8	ヨガ教室開催事業	ヨガを通じて健康的に生きがいをもった生活を送ることを目的とする。	一般村民を対象に実施。 時間：18:30～20:00 参加費：無料	実績成果	ヨガ教室	—	受講者 9名 16回開催 延61名	受講者 10名 15回開催 延75名	4	4	4	4	16	B	ヨガを通じて、住民の健康促進につながった。	継続	点検・評価は適正である。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
					一般	千円	133	121									
合計	千円	133	121														
9	湯本地区合同大運動会開催事業	運動会をとおして、住民の健康増進や地域活性化を図り、健康で明るい豊かな村づくりに寄与する。	湯本地区合同大運動会の運営。	実績成果	湯本地区合同大運動会	—	約120名	約120名	5	5	5	5	20	A	運動会をとおして、住民の健康増進、湯本幼稚園児・湯本小学校児童等との世代間交流を図ることができた。	継続	湯本地区の活気づくりに必要な事業と思われる。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
					一般	千円	238	188									
合計	千円	238	188														

No.	事務事業名	事業の目的	事業の内容	実績成果・事業コスト				事業の評価					総合評価		事業の方向性	評価委員の意見	
				区 分	単 位	R5年度 実績	R6年度 実績	必要性	有効性	効率性	達成度	合計点	評価	判定説明・考察			
10	湯本地区職域親善バレーボール大会開催事業	バレーボール大会を開催し、住民の健康増進、地域の交流を図る。	湯本地区職域親善バレーボール大会の運営。	実績成果	湯本地区職域親善バレーボール大会	—	参加チーム 6チーム 51名	参加チーム 8チーム 80名	4	4	4	5	17	A	バレーボール大会をとおして、住民の健康増進、地域の交流を図ることができた。	継続	点検・評価は適正である。
				事業費	国県支出金	千円	0	0									
					起債	千円	0	0									
					その他	千円	0	0									
					一般	千円	50	87									
	合計	千円	50	87													